

持経宿改築用の製材加工品を木下棟梁宅へ運搬

その一

◇実施日 平成27年05月22日(金) 晴

◇参加者 木下嘉彦、児嶋道夫、川島 功。 計3名。

借地人の十津川村に持経宿改築の助成をお願いした結果、改築に必要な木材製品は無償提供して下さる事になり、木下棟梁に見積して頂き、下記の木材明細書を十津川村役場・農林課へ提出し、製材加工品の調達を依頼する。

十津川村役場から26年度予算で執行決定の通知を受け、役場を訪問し打合せを行い、4月下旬に十津川村森林組合・木材加工流通センター(所在地：十津川村林。新春登山で訪れた高津の対岸にある)から引取る事になった。4月下旬に棟梁から何時引取れるか!の催促があり、担当課に連絡すると遅れそうとの事。

5月中旬に十津川森林組合から、製品(約3屯)が出来たので土日以外何時でも引取りに来る様に連絡がある。

沖崎氏は、レンタル平トラツを各所に問合せたが、レンタル出来ず、コジマ・バイクセンターの1屯トラツクで運搬しに行き、現物製品を確認して、次回運搬に備えるために、引取り運搬に行く。

木下棟梁宅へ明日運搬する旨を連絡すると、棟梁も軽トラで参加して下さる。新宮発7時、森林組合に8時40分着。

製材加工品は、野地板は2m材で注文したが、3mの柱材以外は全て長さ4m材であり、1屯車では積込量が制限される。

棟梁は、木材明細書で現物確認、次回は2屯車で可能と推定

されるが、児嶋車と確実に運搬することにする。レンタル車がなかなか借りられないと話すと、棟梁が手配して下さる事になる。児嶋車(柱・土台材)と棟梁・軽トラ(窓材等)に積込む。

10時前に発ち、十津川村役場農林課・平課長へ御礼と本日一部引取り運搬中の報告に立寄った。

新宮に11時半過ぎに着き、本日の状況報告と今後の予定を打合せの為、沖崎氏を呼び出しする。

次回は、27日(水)に運搬を決め、レンタル車は棟梁に手配をお願いする。食事後4人で棟梁宅作業場へ荷降して13時に解散した。

その二

◇実施日 平成27年05月27日(水) 晴

◇参加者 木下嘉彦、沖崎吉信、児嶋道夫、川島 功。計4名。

平トラツクは、棟梁も借りられず2屯ダンプと児嶋車の2台で新宮7時過ぎに発つ。途中、道の駅にも立寄らず森林組合に8時35分着。

中 昌永所長に連絡してフォークリフトで積込んで貰うが、ダンプの後ろ扉を外して平積みする為、荷台を上げる操作を行うが、不慣れもあり作動しない、中所長のアドバイスで、ようやく作動させ外した。

4mの垂木類を平積みすると。ボディより1m強外に出る。平積みの上に野地板類を運転席上に被る様に載せる。

小屋の毛布置場の棚板に適した3m板材があり、この購入を持ちかけたのち、児嶋車に積んであった磨き石架台があり、使うなら無償提すると児嶋が言うので棚板材と交換となった。

児嶋車に載せ終えるが、児嶋車がないと積込み出来ない量が残っていた。

幸いこれで全量運搬出来ると森林組合を9時35分頃出発。

木下棟梁運転のダンプは、追着くものと走行していると「ダンプはブザーが鳴ってセコンドからサードギアに切り替わらずローでしか走行出来ない」と携帯での連絡、程なく「森林組合に引き返すので、森林組合に戻る様に」連絡がある。児嶋車は風屋集落手前から戻る。

森林組合に戻ると、木下棟梁運転のダンプは、順調に構内を走行している。どうした訳かブザー音がなくなり、正常になった様だとのこと、10時過ぎに再度新宮へ戻る。順調な走行となりホッと！安堵する。

十津川村観光振興課・増谷課長に本日で全量引取りと御礼を述べ退所する。12時前に新宮に着き昼食。

その後、棟梁宅作業場へ行き、真夏日の日差しの下で、汗びっしょりになりながら、結束バンドを切り手持ちで約1時間半かかって荷降ろし、14時に無事運搬作業が終了した。

沖崎、木下棟梁は、レンタルしたダンプ返却へ。児嶋・川島は帰宅する。

いよいよ木下棟梁による刻みが始まり、梅雨明けの改築に向けて本格的に始動した。6月第1週に薪小屋撤去と前側の板壁撤去、屋根ひきし1m延長の束石の穴掘りなどを予定している。



22日・児嶋車



27日・ダンプ



児嶋車

木材明細書

| 内 訳 | 材種 | 規格・寸法 | 数量 |
|-------------|----|-----------------------|-------------------|
| 垂木 | 杉 | 6 cm×6 cm×4,000 | 70 本 |
| 野地板相ジャクリ | 杉 | 1.5 cm×15 cm×2,000 | 65 m ² |
| フェルト押さえ | 杉 | 1.5 cm×4.5 cm×4,000 | 70 本 |
| 屋根トタン下地胴縁 | 檜 | 2 cm×4.5 cm×4,000 | 100 本 |
| 棟・登り雨切 | 檜 | 2 cm×10.5 cm×4,000 | 20 本 |
| 柱 | 檜 | 10.5 cm×10.5 cm×3,000 | 12 本 |
| 土台 | 檜 | 10.5 cm×10.5 cm×4,000 | 3 本 |
| 柱貫板 | 檜 | 3 cm×10.5 cm×4,000 | 15 枚 |
| 窓台 | 檜 | 4.5 cm×10.5 cm×2,000 | 10 本 |
| 筋違 | 杉 | 6 cm×10.5 cm×3,000 | 8 本 |
| 内・外部壁板相ジャクリ | 杉 | 1.2 cm×15 cm×3,000 | 25 m ² |
| 屋根破風板 | 杉 | 3.2 cm×24 cm×4,000 | 6 本 |
| 重ね破風 | 杉 | 2.5 cm×12 cm×4,000 | 6 本 |
| 軒桁 | 杉 | 10.5 cm×18 cm×4,000 | 3 本 |
| 壁見切 | 杉 | 3 cm×4.5 cm×4,000 | 10 本 |
| 小屋束筋違 | 杉 | 3 cm×10.5 cm×4,000 | 20 本 |
| 軒先広小舞 | 檜 | 4.5 cm×10.5 cm×4,000 | 8 本 |

(記
川島)